

報告書

Hiroshima Café Project

2022年1月24日～3月31日開催

～学生達が創る安心で楽しいカフェ支援のイベント～



A PROPOSAL BY ひろしまカフェレストラン応援プロジェクト委員会

はじめに

2022年1月～3月、当委員会では広島市の一丸の矢PJの補助金交付を受け「Hiroshima Café Project 2022」としてフリーマガジンの発行及びSNSを利用したフォトコンテストイベントを開催。

新型コロナウイルスの影響により蔓延防止等重点措置がとられ、当プロジェクトは1/24より非常に苦しいスタートに強いられる事になりました。

しかしながら、このプロジェクトではアルバイトがなく困窮する地元の学生の支援も目的の一つとして、本の製作や撮影モデルとして広く学生を雇用しており、Z世代であるSNSの活用に長けた学生達がインフルエンサーとして広く情報発信してくれました。

TVなどのマスコミ取材もあり、ホームページやInstagramなどのSNSも利用した取材や制作風景も常時情報を発信するなどするなどして、影響事業者・大学生・PJ委員会が三位一体となりプロジェクト成功の為に取り組んだ結果、サブタイトルである「学生達が創る安心で楽しいカフェ支援のイベント」を万人が楽しめる企画として一定の成果を上げることができました。

さらに、この「Hiroshima Café Project 2022」では、コロナ対策をしっかりと施している旨をカフェ本として案内しており、カフェ利用者の安全に配慮いたしました。

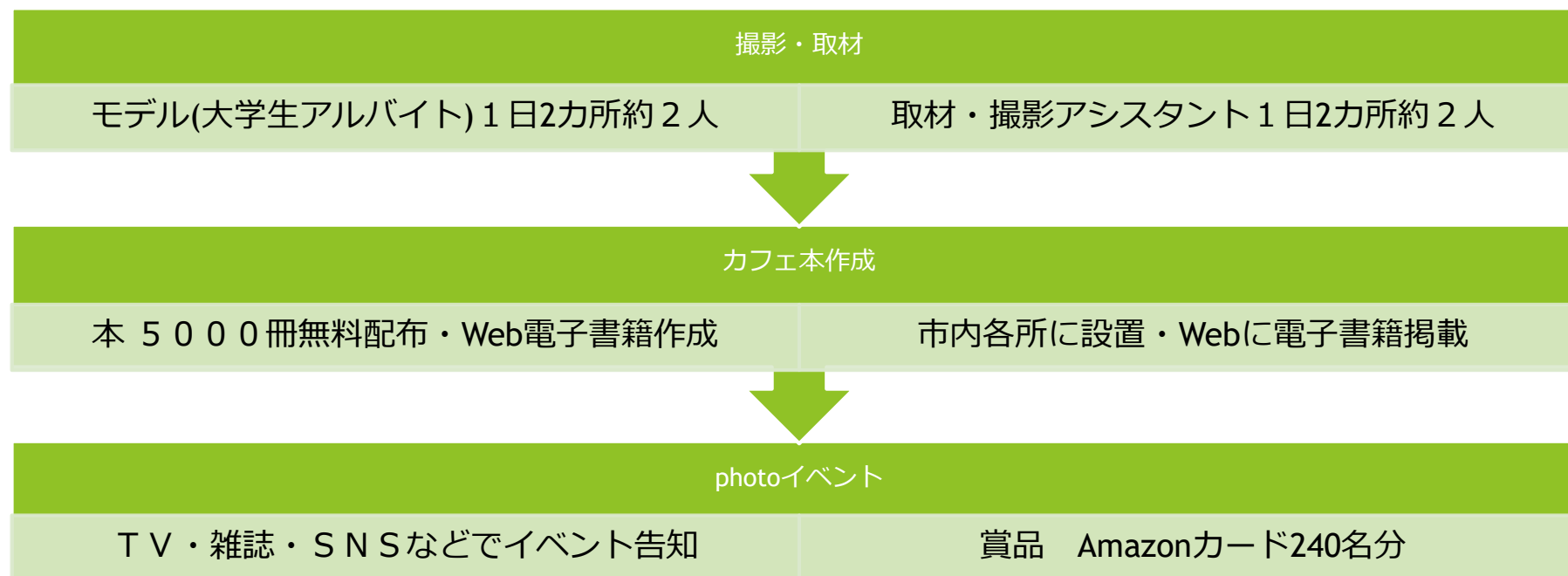
詳細は次ページよりご覧ください。

プロジェクト内容

カフェ本「#かふえじえに」の製作（詳細は4P）。

S N S（Instagram）を使ったphotoコンテスト「かふえじえに」のイベント開催（詳細は5P）。

本の製作、イベントともに学生さんにお手伝い頂きました。



カフェ本 #かふえじえに

5000部を製作しイベント開始日程に合わせて2022年1月24日に発行し**無料配布**、昨年度において作成した本が手に入らなかったと沢山のご意見を頂いたので、電子書籍を作成しかふえじえにHPより無料閲覧できるようにしました。取材の際に撮影した画像は、お店の販売促進に使用して頂いてもいいよう学生モデルの使用許可を取り、**カフェ事業者様にお渡し**しました。

カフェ本は早々になくるところが続出し、発行日に中国新聞アドへ本追加の連絡があったほどでした。委員会事務局にも本を欲しい方々から電話やメール、InstagramのDMで問い合わせをたくさんいただいたのですが、1週間後には在庫がなくなりホームページで無料閲覧できる電子書籍の案内をさせていただきました。

設置場所 掲載店（80店舗）・広島県民文化センター・広島銀行（2支店）・フタバ図書・サコダ車輛・シンカワジュエリー
ザメディアジョン・FMはつかいち 他

ホームページ

<https://www.h-cafe2021.com/>

学生カフェ本編集会議



カフェ本編集会議の様子



アルバイトや仕事なくなり**困窮する学生さんや一般の方などをモデルや制作等に起用**。
大学生が企画し制作した特集ページなども組み入れています。

Instagram



CAFEANDRESTAURANT_HIROSHIMA

かふえじえにイベント内容

1月24日発行のカフェ本又はWebに掲載された店舗を利用いただき、**撮影した写真をInstagramに投稿**してもらいます。投稿された利用店舗の**映える写真**をもとにフォトコンテストをいたしました。カフェ店舗賞などの各種商品を用意し参加意欲を向上させました。

告知（TV・雑誌・SNS）

カフェ本発行（1月24日）

イベント開催（1/24～3/31）

イベントの ポイント

InstagramなどSNSを利用することにより**広く店舗情報が拡散**される。「**#広島カフェ**」はInstagramでも**約70万件以上（2022年10月末現在）の投稿数**があり、これは「**#広島市**」よりも多く、カフェの利用者がいかに店舗で画像を撮りSNSで発信する作業を楽しんでいるかということを物語っている

イベント参加者には**#かふえじえに**、**#参加店舗名**などを付けて投稿してもらいイベント参加人数などを管理。**店舗名もタグ付けしてもらうことで認知度も上昇する**。投稿してもらったものから抽選。商品提供をいただいた、**#かふえじえに**にスポンサー名などでスポンサー賞なども用意。

アルバイトの学生モデルはSNSを利用することが多く、**たくさんのフォロワーを抱えている**ので、広告塔として本の撮影時からメイキングのSNSで投稿してもらい、**事前予告として告知広告の前からイベントプロジェクトの存在を広く拡散**することができる。

メディア各社様に取材いただき、
参加学生の大学にもご協力いただきました。
ありがとうございました。



トップページ > 組織で探す > ブランド企画推進課
> 【メディア出演】経営学科4年岡野優衣さんが
TSS「ライク！」に出演しました

【メディア出演】経営学科4年
岡野優衣さんがTSS「ライ
ク！」に出演しました

2022年1月28日更新

[シェア](#) [Tweet](#) [LINEで送る](#)

先日、経営情報学部経営学科4年の岡野優衣さんが
テレビ取材を受けました。

岡野さんはイラストの制作活動を行っていて、その
活動が取り上げられました。岡野さんは「絵を描い
て皆が喜んでくれたり、自分の描いた絵を誰かに見
てもらえたりするのがすごく嬉しいです。」と話し
てくれました。

県立広島大学HPより



いいね! : office_k_plus、他

jogakuin_u 本学の学びとは少し離れますが、
日頃から大学広報活動に協力してくれている学生から
「ぜひ紹介してください!!」と熱望された冊子のご紹介で
す。

ひろしまカフェレストラン応援プロジェクト委員会が発行する
『#かふえじえに』という冊子に、本学学生3名がモデルと
して参加しています!
(うち1名は表紙という大役を務めています...!)
他大学の学生も含め、多くの大学生たちが参加しているよう
です。

冊子版は既に入手困難とのことですが、
ホームページから電子書籍版を見ることができます。
広島市内を中心としたカフェがたくさん紹介されていまし
た。
無料冊子としては、とてもボリューム感のあるものです。

学生たちの楽しそうな表情に溢れた本です。
よろしければぜひご覧ください。

#広島女学院大学 #広島女学院 #女院 #キャンパスライフ #
大学 #志望校 #学生生活 #学び #学生紹介 #大学生 #高校生
#大学生活 #学生の活躍 #大学入試 #大学受験 #志望校 #勉
強 #高1 #高2 #高3 #広島カフェ
#hiroshimajogakuinuniversity

2月15日

広島女学院大学Instagramより



広島FM ゴッジより



TSSテレビ新広島 満点ママより



TSSテレビ新広島 ライクより



FMはつかいち 水曜日の大学生便りより

S N Sの効果

学生アルバイトや業者、参加事業者のSNSでの情報拡散によって、店舗の認知度が上昇し、コロナ感染症対策の安全性もアピールでき得た。

現代のSNSの利用率や、インフルエンサーによるPRマーケティングが効果を発揮しているように、消費者は実際に購入・利用した第三者の意見を重要視するため、取材撮影時の情報発信や学生モデル、イベント参加者の投稿などの第三者の発信は大きな成果となった。

SNSを利用した学生支援を含めた今プロジェクトは話題を呼び、テレビやラジオなどのプレスから取材依頼も舞い込み放送された為、SNSとの相乗効果でイベント参加による新規顧客の獲得ができたことの報告もいただいた。

※イベントの為に作った造語「#かふえじえに」はInstagramの投稿数が500以上を数えた。

まん延防止等重点措置の影響が大きくあった事は残念でならないが、イベント集客だけでなく店舗が持つSNSアカウントのフォロワー増加もあり、今後の情報発信や経営状況を進展させる効果を見込むことができる基盤ができた。

今後、SNSの利用者は増加することは確実であり、SNS上に店舗の情報を第三者の言葉で残せることは、以下のような効果を継続的に発揮できる。

・ウィンザー効果、

第三者からの情報の方が信頼性・信憑性が増すという心理。

・バンドワゴン効果、

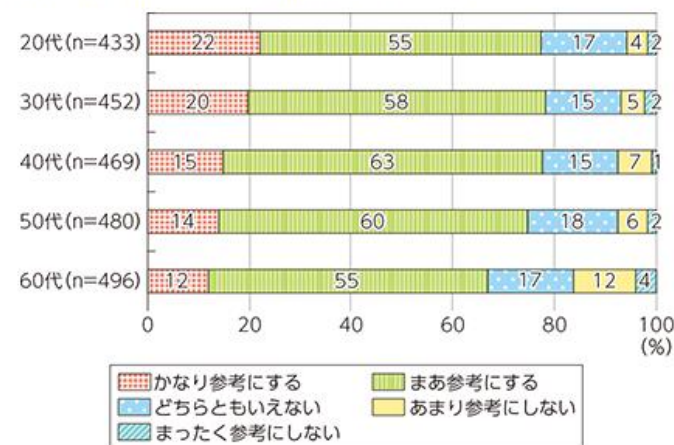
「多くの人が支持しているなら間違いない」という心理。食べログの評点など。

・ハロー効果

「口コミが多い」という特徴に引きずられて、良いように評価してしまう心理。



図表1-4-2-14 レビューをどの程度参考にするか



※引用元：総務省「第1部 特集 IoT・ビッグデータ・AI～ネットワークとデータが創造する新たな価値～」

新型コロナウイルス影響事業者緊急支援事業
「広島は決して折れない！一丸の矢プロジェクト」

#広島カフェ2022 かふえじえに

カフェ本発行日 2022年1月24日発行

Photoイベント期間 2022年1月24日～3月31日

本件に関するお問い合わせ先

ひろしまカフェ&レストラン応援プロジェクト委員会

広報担当 河原 真治

TEL: 082-881-7040 / 090-4806-2367

Email: Hiroshima.caferes.pj@gmail.com